

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2991500030
法人名	一般財団法人信貴山病院
事業所名	グループホーム はあとの杜 さんごう
所在地	奈良県生駒郡三郷町立野南2丁目9番33号
自己評価作成日	平成28年10月11日
評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/29/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人カロー
所在地	大阪府泉佐野市泉ヶ丘四丁目4番33号
訪問調査日	平成28年11月1日
評価結果決定日	平成29年1月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営主体が病院と言うことも有り、医療・介護の連携が迅速かつ適切に行われる環境が保たれている事業所です。利用者様に「第二の我が家」と思っただけのように、家族様とスタッフの連携にも力を入れています。また入所前に当事業所の特徴として、医療デイケアにご利用頂く事で、下肢筋力低下や地域コミュニティの確立等、同法人で有るから出来る連携をご説明させていただきます、ご利用後もご利用者様・家族様に喜ばれております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

最寄りの駅から徒歩1分と利便性に優れています。同一法人の全面的なバックアップがあり、デイケアの利用や医療機関のフォローがしっかりとしており、安心して生活を送る事が出来ます。ケアの面では、接遇研修等の研修が充実。個別面談や日頃の会議を通して、管理者とスタッフの意思疎通も図られ、サービス向上に努めています。入居者の方やその家族との関わりを大切に、家族や関係機関と協力しながら、入居者個々の生活を検討しておられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果	項目	取り組みの成果
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

ユニット名 (ほし)

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループ全体で共有し実践しています。また毎申し送り時、理念の読み上げを実施し、常に意識しています	理念や行動規範を1日4回の申し送り時に復唱し、また、スタッフ個々の名札の裏にも携行し常に確認出来る様工夫されています。また、行動規範を意識づけ出来る様、一つずつ1週間に1回入れ替え重点的に取り組む様工夫されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	同じ地域のデイケアを利用されたり、自治会行事にも定期的に参加されています。同地域でのバーベキュー会場を利用したり、近隣のスーパーを利用しています	近隣のスーパーに買い物に行ったり、散歩に出かけたりしています。また、自治会から秋祭り等の行事のお誘いもあり、日常的に交流がなされています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を利用し、説明・理解は適宜行っております。多くのスタッフも認知症サポーターを取得、また三郷町の「認知症部会」会議の参加・思索し、定期的に交流しています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所主導の推進会議ではなく、気軽にご意見を聞けるように、座談やカフェ的な感覚の推進会議を定期的開催しています	全入居者のご家族へ案内を出されています。また、多くの方の参加を促す為、会議の開催日を、平日と土曜日に交互に設定し、また、話しやすい様、座談会形式やカフェ形式など、会議で意見交換がしやすくなる様工夫されています。	ご家族の他、町の福祉課や地域包括支援センターの出席や、自治会、民生委員の参加もあり、多方面からの意見を集め、改善に努めておられます。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に役場関係者の参加も依頼し、参加していただいています。役場関係者と地域密着型事業所の話し合いの場も設け参加しております	地域活動として、町が開催する認知症専門部会に参加し、行政と一体となって、地域福祉について取り組まれています。また、日頃から連絡を取り合い、介護相談や天災時の安否確認等、相互の連携がもたれています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしない取り組みは実施しています。玄関施錠に関しては、玄関前が車の通る道の為、法人本部指示にて常時施錠しています	身体拘束の研修を年2回実施し、拘束をしないケアについて、スタッフへの意識づけがなされています。玄関については、ホーム前の道路が車の往来が多く安全を第1に考え施錠されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	管理者は虐待防止の外部研修に参加し、事業所内研修も年2回必須で研修実施しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご家族様にはご説明させていただき、最終役場までのご確認をお願いしております。(個人収入等の、個人情報に係る為)		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族様とコミュニケーションを取る最大の機会でもあり、契約前説明も行き、本契約当日も一言一句すべて読み上げ、納得・理解を得れるまで説明しています。その結果、現時点で後からのクレームは一切有りません		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や個別郵送にてご意見を伺う取組、また面会簿も工夫して努力しています	意見箱が玄関前に設置されています。また、面会カードに意見要望を記入する欄を設け意見を聞き出そうとする姿勢が伺えます。また、日頃から、些細な事であってもご家族と確認しながら対応されています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	事業所会議を月一回実施、カンファレンスもスタッフの判断で自由にできるようにしています。面談も定期・適宜で行っており、意見の反映もしています	月1回の会議で業務やケアの面で意見交換を行っています。また、年2回スタッフの個別面談を実施しており、スタッフと管理者が共に運営方針を築きあげています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	賞与は努力を反映できるよう能力・実績査定。またパートを含め有給休暇消化率100%実績。残業も自己申告に基づき100%支給しています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフのスキル・経験等を勘案し、「OJT」「OFF-JT」を実施しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	「地域密着型事業所連絡会」を地域事業所で参加・実施しています。ハートランドグループでも24時間対応の入所施設で「入所施設会議」を月一回定期的に開催し、意見交換をしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前インテークを複数名で実施、サービス開始に出来るだけ支障が無いよう、努力しています。また見慣れたスタッフが出るだけそばにるように、正職員だけで運営できるようにしています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様へは事業所の相談はもちろんの事、管理者へも24時間いつでも相談できるよう、直通ダイヤルをお伝えしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族様と個別面談をさせていただき、今後の支援方法を決め実行しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員も同じ食事を同じ場所でいただき、暮らしを共にする関係を築いています。正職員だけのの人員換算確保も、馴染みの関係を構築する為です		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護方針の押しつけではなく、家族様の意向、生活歴も勘案しケアプランの決定・実行しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	携帯電話をお持ちの方もおられ、いつでも馴染みの方と連絡をとったり、疎遠にならないようご理解・ご協力をいただいています	ご家族の協力を得ながら、外出機械を設け、馴染みの場所や関係性が途切れない様、工夫されています。また、同一法人が運営するデイケアに行かれ、知人との交流が行われています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別の支援、事業所全体の支援を使い分け実施しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も家族様の迷惑にならないよう配慮はし、管理者・ケアマネが相談させていただいています。同法人の入院であれば、家族様の許可を頂いた上で、面会にも伺っております		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別に趣味や希望を把握し、個別レクリエーションを計画・実行しています	入居前に、どの様な暮らしをしたいか、本人、家族との意見を参考にしながら、その人の思いを把握し、安心して暮らせる様、検討されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	スタッフの偏った見解・理解にならないように、複数のスタッフでインテークに努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントを各利用者様担当者が作成。また当事業では「ケアカンファレンス」と位置付けし、定期的な話し合いの場を設けています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成者だけではなく、担当者以外のスタッフも話し合いの場に参加しています。ご本人様・家族様・医療従事者の意見、指示も介護計画に反映するよな計画書を作成するよう努力しています	ケアプランの見直しは6か月に1回実施されていますが、月に1回カンファレンスを開催。3か月に1回モニタリングを行い、主治医や訪問看護師等、外部の専門職からも意見を聞き、必要に応じてプランを修正しながら対応されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	当事業所では「記録表」「介護記録表2」に記入実施しています。些細な事もスタッフ間で連携・伝達できるよう業務日誌にも記入しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院等の支援も、ご本人様・家族様のご要望に出来る限りお応えできるよう柔軟な対応を取っています。特に緊急時、車の手配やスタッフの同行も、臨機応変に対応しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域にあるスーパーやリハビリ施設も積極的に利用し、下肢筋力の低下予防に努めています。また外に出かける機会を多く設け、気分転換をしていただいています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医はご本人・家族様に決めていただいております。当事業所が連携しているかかりつけ医も紹介・説明はご家族様にしております	協力病院(内科)から2週間に1回の往診があります。また、同一法人のデイケアの利用時に精神科の診察があります。また、必要に応じて、訪問看護師や歯科医の往診もあり、医療面でのバックアップは充実しています。また、元々のかかりつけ医への受診は、ご家族の協力を得ながら可能です	医療面でのバックアップが充実しています。入居後の本人の状態に合わせて、本人、ご家族の意向に即した支援が可能です。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの医療連携も実施しており、24時間適切な看護が受けられるようにしています。定期的な訪問も実施してもらっている為、相談も適宜できております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	近隣の緊急受け入れ体制が有る病院様には、連携部の方と常に連携は取っています。法人を上げ協力医療機関として連携も取っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所契約時に「看取り指針(定義)」は十二分に説明しております。また随時、個々にご家族様・主治医と話をし支援に努めています	終末期、看取りの体制は整備されています。医療面での助言、ご家族の意向を参考に、終末期の過ごし方について話し合いを行いながら、入居者本人にとってどのような支援をするべきかを検討されています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルや緊急連絡の周知に努めています。チャート式のマニュアルを作成し、緊急受診等、未経験スタッフも今後対応できる様、必ず指導できるスタッフが同行し指導しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	管轄消防署にも訓練に参加・指導していただいております。参加職員だけでなく、全スタッフ書面での周知も徹底しています	年に2回消防訓練を行っています。また、消防署の立ち合いもあります。備蓄もあり、災害時に備えています。	ホームの近くに河川があります。ホーム自体は高い位置にあり安全ではありませんが、水害時の避難方法も今後考えていると話されています。防災意識が高く持っておられます。万一に備え、更なる検討に期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全スタッフ外部講師を招いた接遇研修は、必須で受講しております。また毎申し送り時、接遇チェックを読み上げ確認しております	入居者の発言や行動を見守り、さりげない言葉かけや行動に対しての対応がされています。また、年に1回、職員の経験に応じたレベルの接遇研修を全スタッフが受講しています。	食事時、居室で過ごしておられた方や、なかなか食べようとしていない方がおられましたが、無理にお誘いするのではなく、入居者のペースに合わせた対応が確認出来ました。入居者のペースに合わせたケアがされている事が確認できました。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	過度の促し、声掛けはしないよう心掛けています。炊事・洗濯・掃除等も利用者様の希望が有る場合、自ら進んで出来るよう取り組みをしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	地域にあるデイケア利用も含め、利用者様の気分・希望を尊重し、当日またその場その時に確認し、支援させてもらってます		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧やおしゃれ等、ご自身で出来る方にはご自身で、またスタッフより「お声掛け」にて対応させていただいている利用者様も居られます		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備・片付け共に、積極的にされる利用者様が居られますので、負担にならないよう配慮した上でして頂いています	ホーム内で自炊されています。献立は入居者と相談しながら決めたり、食材を見て作ったりしておられ、画一的ではなく、柔軟に対応されています。また、入居者の能力に応じて、準備や後片付けをスタッフと一緒にしておられます。	ホーム内での食事だけでなく、バーベキューに行ったり、ファミリーレストランでの食事や外出時に弁当を購入したりする機会もあり、食事を楽しむ企画もされています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランス等、管理栄養士のチェック体制をとっており、指導・アドバイスをいただいています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一日4回、個人にあった道具を使用し歯磨きの実施。液体口臭ケア用品の使用もしています。また歯科衛生士のスタッフも採用し口腔ケア向上に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別で排泄間隔の把握、また全スタッフ同一対応できるよう書面にて確認して実行しています	入居者の仕草や様子から読み取り、排泄の支援をされています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日水分量の把握や、朝食時定期的に乳酸菌摂取も心がけています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	母体の病院内に温泉施設が有る為、利用者様の希望が有れば入浴していただき、好評を得ております	基本的に、同一法人のデイケア利用時のうち、木曜日に1回と、ホーム内で火曜日と日曜日に入浴を設定していますが、希望により、平日の夕方に入浴する事が可能で、柔軟に対応されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご自身のタイミングで自由休んでいただき、室温調整はスタッフがしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情をファイルにまとめ、閲覧・確認がしやすいように努めています。また自己管理ができない利用者様にはスタッフが把握した上で個々にあった支援をしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ボランティア様にも活動依頼しており、利用者様には自由参加していただいております		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別に散歩もスタッフの見守りが出来れば自由にして頂いています。また家族様にも外出・外泊の制限無しで、自由にして頂いています	日頃から、散歩等外出機会があります。また、ご家族との外出や外泊をする方もおられます。年間を通しては、バーベキューや大衆演劇を観に行くなど、外出機会を企画しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理も自由で、詰所にてスタッフ管理も可能にしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	基本自由にして頂いております。また携帯電話を所持されている方も居られます。事務所からの電話も希望時、無料で利用して頂いております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	現在混乱を招くような事は特に有りませんが、季節感を感じる掲示物や、カレンダーの掲示をしております	リビングは吹き抜けとなっており、開放的な空間となっています。また、ホーム内で作成した絵手紙などの作品を掲示したり、雑誌や新聞が置いてあり、居心地の良い空間となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	立地上、非常に狭い共用フロアですが、気の合った利用者様同士の座席は配慮しております。また圧迫感の無いように吹き抜け設計にしております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス等、使い慣れたものが有れば持参していただくよう、お声掛けは全家族様にしております	使い慣れたタンスや布団等の持ち込みが可能です。入居者の方が居心地よく過ごせる様、ご家族と相談しながら、居室の雰囲気づくりをされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表示等、出来るだけ迷われる事がないよう、またご自身で行動できるような配慮はしております		